

平成 3 0 年 6 月 1 5 日

洞 爺 湖 町 議 会 平 成 3 0 年 6 月 会 議
教 育 長 行 政 報 告

番	号	件	名
---	---	---	---

1		公立高等学校配置計画案について	
---	--	-----------------	--

2		各種事務事業の取組状況について	
---	--	-----------------	--

1 公立高等学校配置計画案について

6月5日、北海道教育委員会は平成31年度から平成33年度に係る公立高等学校配置計画案と、平成34年度から平成37年度までの見通しを公表しました。

胆振西学区に関しては、平成33年度に登別青嶺高等学校と伊達緑丘高等学校で、それぞれ1学級減とする案が示されました。

見通しに伴う学区の検討事項としては、平成34年度以降、平成37年度までに中卒者が153人減少することが見込まれることから、「4年間で3～4学級相当の調整が必要」、「欠員の状況や学校・学科の配置状況を考慮し、室蘭市内において定員調整の検討が必要」また、「伊達市内において、欠員の状況や望ましい学校規模を下回る学校があることを考慮し、再編を含めた早急な定員調整の検討が必要」となっています。

北海道教育委員会では7月に第2回目の検討協議会を学区ごとに開催し、その協議内容なども参考に、9月には計画決定の予定としています。

なお、虻田高等学校が含まれる地域連携特例校に関しては、「5月1日現在の在籍者数が20人未満となった場合は、所在市町村をはじめとした地域における高校の教育機能の維持向上に向けた具体的取扱いとその効果を勘案した上で、再編整備の留保の検討が必要」としています。この内容に沿い、1年生在籍者数14人の虻田高等学校について、平成33年度は再編整備留保となっています。

2 各種事務事業の取組状況について

前会議から本会議までの各種事務事業の取組状況について、次のとおり報告します。

(1) 中学生避難所開設体験学習会の開催について

今年で5回目となる町内中学2年生を対象とした避難所開設体験学習会を、6月5日に虻田中学校体育館で開催しました。

今回からは教育課程に位置づけ、虻田中学校と洞爺中学校の合同授業として行いました。洞爺湖有珠火山マイスターの荒町美紀氏から「2000年噴火の避難所体験」の講話を聞いた後、個人ごとに避難者名簿を書き込み、避難者役7班と役場職員1班に分かれ、ロールマットを敷いて、ダンボールの居住スペース設営や簡易ベットの組み立て、食卓テーブル作りを行いました。

その後、職員班による弁当仕分けを基に昼食をとり、午後からは、避難所運営を模擬体験するゲーム「HUG（ハグ）」も行い、班ごとに討議しながら真剣に取り組んでいました。

生徒たちは、学習会を通じて、避難所生活がいかに大変であるのか、さらには、ともに考え、協力しあうことの大切さなどを短い時間のなかで多くのことを学び取っていました。

有珠山を有する当町における防災学習の重要性に鑑み、今後も継続して実施して

まいります。

(2) 洞爺湖町少年の主張大会の開催について

6月6日、虻田ふれ合いセンターにおいて洞爺湖町青少年健全育成連絡協議会が主催する「洞爺湖町少年の主張大会」が開催されました。

虻田中学校、洞爺中学校の両校から選抜された生徒6名が、言葉の大切さや人との関わりなどについて、堂々と落ち着いた態度で自分の意見を発表し、約50名の方々が熱心に聞き入っていました。

今回、最優秀賞に輝いたのは洞爺中学校3年生の毛利郁也さんで、「命の給食」をテーマに、給食食材も地域の方々が愛情を込めて育てたことを自身も畑仕事の手伝いで学び、食に関して得た多くの知識や大切さを次代に伝えたいとの内容を述べたものであります。

なお、毛利郁也さんは7月20日に開催の「少年の主張胆振地区大会」に洞爺湖町の代表として出場することとなっています。

(3) 洞爺湖町社会教育委員の委嘱について

任期満了に伴い、4月1日付けをもって次の15名の方々に委員を委嘱いたしました。なお、第1回会議を6月4日に開催し、委員長に木村省平氏、副委員長に大石久美子氏をそれぞれ選出し、本年度の社会教育事業計画等について審議いただきました。

◎委員長 ○副委員長

〈敬称略〉

	氏 名	推薦団体等	新再別
◎	木 村 省 平	とうや文化協会	再任
○	大 石 久美子	学識経験者	再任
	青 木 佐智子	ウイメンズネットワーク洞爺湖	再任
	上 名 耕 司	洞爺湖町自治会連合会	再任
	古 室 信 行	洞爺湖町校長会	再任
	住 吉 栄 治	洞爺湖町自治会連合会	再任
	鈴 木 孝	洞爺湖町老人クラブ連合会	再任
	加 藤 貴 之	学識経験者	再任
	毛 利 納	洞爺湖町体育協会	再任
	五十嵐 優 子	学識経験者	再任
	小 林 裕 司	洞爺青年団体協議会	再任
	夏 目 與 市	洞爺湖町文化団体協議会	再任

	福 島 良 一	学識経験者	再任
	越 後 進 一	洞爺湖町PTA連合会	新任
	蛭 澤 一 弘	洞爺国際交流協会	新任

(任期 平成30年4月1日～平成32年3月31日)

(4) 洞爺湖町スポーツ推進委員の委嘱について

任期満了に伴い、4月1日付けをもって次の方々に委員を委嘱いたしました。

なお、5月18日に第1回会義を開催し、委員長に依田信之氏、副委員長に以西隆一氏をそれぞれ選出し、今後の社会体育事業の施策等について審議いただきました。

◎委員長 ○副委員長 〈敬称略〉

	氏 名	新再別
◎	依 田 信 之	再任
○	以 西 隆 一	再任
	森 幸 子	再任
	山 浦 悦 子	再任
	田 中 裕次郎	再任
	佐 藤 寿美子	再任
	矢 野 隆 一	再任
	田 中 健	再任
	高清水 聡	再任
	泰 地 恵	再任
	橋 本 謙之介	再任
	升 田 尚 希	再任
	齋 藤 学	再任
	寺 島 翔	再任
	奈須川 敦 子	再任
	明 石 和 磨	新任
	舘 岡 恵 一	新任

(任期 平成30年4月1日～平成32年3月31日)

(5) 保育所入所状況について

平成30年4月末日現在の保育所入所児童数は、次のとおりです。

なお、他市町村からの広域入所児童は0名（他市町村への広域入所1名）となっ

ています。

(単位：人)

保育所名		定員	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	障が い児	計
常 設	本 町 保育所	60	—	6	5	3	9	6	0	29
	入 江 保育所	90	—	6	5	6	5	13	—	35
	桜ヶ丘 保育所	60	5	8	3	9	4	4	—	33
	洞 爺 保育所	45	—	2	4	5	6	4	—	21
合 計		255	5	22	17	23	24	27	0	118

※広域入所者は含まない。

※へき地保育所のさくら保育所は、平成30年度休止。

(6) 放課後児童クラブの平成30年度入会状況について

平成30年度放課後児童クラブの入会状況については次のとおりです。(児童数は平成30年4月末日現在)

(単位：人)

学年別	風っ子	洞爺湖クラブ	とうや児童クラブ	合 計
1 学年	1 5	0	7	1 9
2 学年	1 6	3	2	2 1
3 学年	2	4	3	9
4 学年	0	4	3	7
5 学年	0	5	0	5
6 学年	3	1	2	6
合 計	3 3	1 7	1 7	6 7